

じごろ

ゆ

感動大賞募集中

かんどうたいしょうぼしゅうちゅう

心を揺さぶるスカウト100物語

じごろをよさぶるスカウト100ものがたり

8/31
締切



2013.11 グスタフ国王歓迎 スカウトラリー



2014.8 富士登山

2014.7-8 フィレンツェ派遣



2015.4 ピーバーランド

日本ボーイスカウト京都連盟創立100周年
「記念誌」 原稿募集のお知らせ

今年、ボーイスカウト京都連盟は創立100周年を迎えました。これまでに上記のさまざまなイベントが実施され、今夏はカブスカウト大舎営大会、イギリス派遣、23WSJ。そして11月1日にはスカウトラリー、記念式典でフィナーレを迎えます。この100年間、スカウト運動は、子どもから大人までの「人づくり」に学校や家庭ではできない役割を果たしてきました。一つひとつの取り組みはささやかでも、世のため人のために、報いも求めず励んだ先人からのDNAは確かに受け継がれています。その原動力は「感動」。スカウトの汗と涙と笑顔。希望と達成感。情熱。これらを、心の底にそっとしまっておかないで、この100年の節目に、一人一つずつ書きとどめ、世の中に、そして未来に向けて発信しましょう！



→裏面をご覧ください。

京都連盟の全ての加盟員・保護者・OBの皆様へ

■記念誌発行の目的
感動の輪を広げて
スカウト仲間を増やそう。

■方法
全員参加で、書く・作る。
友だちに読んでもらう。

書く人

登録しているすべての
加盟員（ビーバーから
ローバースカウトまで、
隊指導者、団委員、
地区役員、連盟役員）
だけでなく、保護者・
OB の参加も歓迎し
ます。

■とっておきの感動を探す

スカウト活動を通して、心がふるえた
経験はありませんか？ じっくり
振り返って探してみましょう。
嬉しかったこと、頑張ったこと、
身についたこと、友だちのこと、
キャンプのこと、自慢話…
何か一つのことでも結構です。
それを友だちや家族に話すように
まとめてみましょう。

■どう書くか

文章なら 800 字以内にまとめてみましょう。
歌や詩、写真でも OK。その背景や状況を
説明する文章があれば、思いが通じます。
自分で作文できない人や、ビーバースカ
ウトは、発した言葉を保護者が書き留めて、
そのときの情景とともに紹介いただくのも
一つの方法です。



読む人

スカウトの友だちに読んで
もらいましょう。
学校や公立の図書館にも寄贈
します。いろいろな読者から
「スカウトって楽しそう！」
と言われたら…今から
ワクワクしますね。

作る人

団ごとに記念誌担当者を
任命いただき、原稿集めを
お願いします。
地区・連盟の担当者と
連携して本作りを
進めます。

■原稿を集める方法

団の記念誌担当者は、一人ではなく
数人のチームで分担しましょう。
書く人はスカウトや指導者だけでなく、
保護者や OB にも呼びかけてください。
手書きの作文、デジカメの写真、
団の記念誌からの抜粋、スマホからの
投稿など、さまざまな手段を使って
多くの人の参加を受け入れましょう。
新たな発見にスカウト運動の可能性が
広がります。

■集めた原稿は…

団の記念誌担当チームで、デジタル化して
地区の担当者に送ってください。
文章はテキストとしてメールの本文に、
画像は添付して送ってください。

■編集力を貸してください

次の経験をお持ちの方を、編集チームに歓迎
します。保護者や OB にもいらっしゃいませんか。
いっしょに 100 年に一度の記念誌を作りましょう。
ホームページの編集 マンガやイラストを描く
文章を読むのが好き DTP オペレーター
写真撮影 校正 グラフィックデザイナー

■感動大賞

まず、原稿は可能な限り、いったんホーム
ページに掲載します。
そのなかから選りすぐりの 100 選を出版物
としての『記念誌』に掲載します。
選外の原稿もデジタル版に収録して、
すべての投稿者に無料で贈呈します。

■募集要項

応募対象：
すべての加盟員、スカウトの OB・保護者
内 容：
スカウト活動を通して「感動したこと」
または自分の誇り・自慢話
表現方法：
文章（原則として 800 字以内）
写真・イラスト（背景の説明文を添付する）
動画・音声（掲載はデジタル版限定）
締 切： 8 月 31 日
個人情報の保護：
投稿された原稿（文章・画像等）は「記念誌」
および関連するウェブサイトに掲載すること
を執筆者・被掲載者が承認されたものとしま
す。個人情報の保護は京都連盟プライバシー
ポリシーに基づきます。

詳細

[http://
www.26bs.org/
Activities/
100/
index.html](http://www.26bs.org/Activities/100/index.html)



5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

▲総会で募集を発表

▲団の記念誌担当者選任
地区ごとに説明会実施

▲8/31 締切

▲11/1 記念式典

▲発行